

# 日本福祉教育・ボランティア学習学会 学会ニュース

Japan Academic Association of Socio-education and Service Learning

No.59

2016年2月18日  
発行

発行人：松岡廣路 編集委員：長沼 豊 菱沼幹男 熊谷紀良  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 3 番 27 号 口リ工市ヶ谷 3 階  
TEL.03-5227-7101 FAX.03-5227-7102 Eメール jimukyoku@jaass.jp

## 第 21 回やまぐち大会を終えて

大会副実行委員長 藤田久美 (山口県立大学)



日本福祉教育・ボランティア学習学会第 21 回やまぐち大会を 11 月 14 日 15 日に、山口県立大学において開催することができました。学会設立 20 周年を迎えたとうきょう大会から大切なバトンをいただき、山口の地で参加者の皆様方と一緒に、新たな一步を踏み出せたことに深く感謝いたします。

本学会の求めてきた理念を包含した大会のテーマは「福祉教育・ボランティア学習の底流にある意義を探る～学び合う場の創造を目指して～」。学会を終えた今、皆さま方とともに学んだあの日をふりかえると、改めて、福祉教育・ボランティア学習学会の求めてきた理想と夢を持ち続けることの意味を肌で感じた 2 日間であったように思います。

基調講演の夢のみずうみ村 藤原茂氏による「生きる力とリハビリ方 - 新たな福祉文化の創造」と題した講演では、実践から生成された理論や言葉の重みに心を揺さぶられました。人の<いのち>と向き合うことの大切さや支援者（あるいは実践者、研究者）としての生きることの意味について再考する機会を与えていただきました。

課題別研究や特別課題別研究では、福祉教育・ボランティア学習の源流の価値をみつめるまなざしといのちの持続性を保持するための研究の必要性を再認識するとともに新たな研究課題を明確にすることができました。さらに、自由研究発表やシンポジウムと学びを重ねたことで、共生社会を創造するために何ができるかそれぞれの立場で思索し続けていく決意ができたのではないのでしょうか。

社会に生きる多様な人々の<いのち>に向きあい、福祉教育・ボランティア学習学会として持続可能な社会を目指すための社会的役割を果たすためには、学会員の力を集結することが重要です。やまぐち大会の学びが大切な一步となり、学会のさらなる発展に繋がることを心から願います。

最後になりましたが、やまぐち大会で出会うことのできた皆さまに感謝するとともに、ご支援・ご協力いただいたすべての皆様方に深く感謝申し上げます。やまぐち大会実行委員一同、学会運営を通して得た学びをこれからもつなげ、実践と研究が交錯・循環する「学び合う場」を創造し、それぞれの立場での省察を繰り返しながら精進するつもりです。

さて、21 年間引き継いできた大切なバトンは、第 22 回みやぎ大会 in 都城実行委員会の皆さまにお渡します。次回学会の成功を心からお祈りしますとともに、またお会いできることを楽しみにしております。